

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室『きらり』和歌山岩出校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月12 日		～ 2024年 12月21 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2024年 11月12 日		～ 2024年 12月21 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	元日本語学校で勤めていた指導員が、英語学習に特化している。	正確な情報に基づき、明確な目標を持たせ、受験に向けた学習を行えるようにしている。 学校以外でも相談できる場所として提供できるように、アドバイスできるように(手助けできるように)、注力している。	おもしろさを伝えられるように、児童の表情を見ながら、やりすぎない程度に取り組み、児童や保護者のニーズに沿った学習を行えるようにする。
2	地域の高校の情報や、入試に向けた動き等を指導員が把握しており、利用児や保護者とも共有することができている。情報を公開することができている。	地域の情報に過敏に反応できるように、情報網のチェックを抜かりなく行っている。	情報が変わっていくことに気をつけ、情報を受け取る状況を保てるようにする。 教科書の変化にも気をつける。
3	元気いっぱいの小学生が、楽しみながら学習に取り組めるように、静と動を入れながら学んでいけるようにしている。	いかに、学習ではなく、遊んでいる感覚で学習できるようにしている。 児童の好きなものを取り入れながら、体を動かしたり、ゲーム感覚で基礎知識を入れられるようにしている。	教室にある教材や玩具をフル活用し、新しい学び方も見つけていけるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援室がワンフロアなので、広いのはよいが、個々の支援内容が異なるため、互いに影響を受けやすい。	学習支援と体を動かす支援など、長時間に重なるため、同時刻に取らないが理想ではあるが、保護者の都合や意向により物理的に難しい。気が散るなどの弊害も生まれる。	できるだけ視界に入らないように椅子の向きを変える その場しのぎではあるが、できるだけ気が散らないように離れるなど できるだけ同時に学習、動きのタイミングにする。 パーソナルスペースの確保。 指導員の声の大きさにも気をつける。
2	保育所等訪問などの教育機関との連携が不足している。	積極的に保護者への打診や、提案を行えていなかった。	保護者と連携とって、学校訪問や情報共有できるよう、声掛けしていく。相談を受けた際は、学校の様子を見たいという要望も打診する。繋げてもらう。
3	保護者同士のかかわりや、対話をする機会が少なかった。	イベントの開催ができていない 個別支援のため、機会がないと思い企画を作れていなかった。 保護者の都合を考えすぎていた	場所の提供だけでもできるようにする 話せる機会を設ける イベントの開催を行い、保護者が横の繋がりを持てる機会を作れるようにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室『きらり』和歌山岩出校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 41

回収数 27

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	3	1	0	個々に仕切られていて集中しやすい・机をパテーションで仕切ってくれているので気が散りやすい子に配慮してくれている。よく公園のように走れたいなどの一人につきひとり机に向かっているので安心 1対1で学習させてもらい親子共に満足している	他の児童の影響を受けないようにできるだけ視界に入らないようにする。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	0	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	1	0	2	障害レベルが軽い方だと思っているので何とも言えないが、一年生でもわかりやすい空間づくりだと思う	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	0	0	0	こどもの特性を理解してくれ、上手に導きやる気が出るようにしてくれている。文章を読むのが苦手なのですが、ゲームの要素のある絵本を選んでくれたり、勉強を嫌がる時には伝え方や	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	0	0	0	気になっている所を支援内容に入れてくれる	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1	0	1		理解していただけるよう丁寧な説明を心掛ける。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	2	0	0	子供の意見を取り入れつつ上手に活動内容を決めてくれている。そこまで私が認識できていない	質問のしやすい環境や状況作りを行い、活動プログラムの詳細をわかりやすく説明できるようにする。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	0	6	11	機会がなかったため、ニーズがあれば検討する。	保護者等の意見を聞き、ニーズがあれば検討する。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	0	0	0	交流やイベントがあるのかもしれないが、私がいらないだけかもしれない	イベントの公表や告知を全体に分かりやすいようにする。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	1	0	0		丁寧な説明を心掛ける
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	3	2	6	研修会は分からないが情報共有の機会はある そんな機会があるのならお聞きしたい	情報提供の機会を設け、周知していく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	25	1	0	0	迎えに行ったときに毎回話す時間を取ってくれている。気づいたことを話してくれる。こちらの話も聞いてくれる	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	0	0	1	親が気づかない子供の良いところを教えて頂いたり、時には愚痴を聞いていただき励まされる	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2	3	13	子ども同士の交流はどの程度かわからないが、イベントは開催されている そのような支援、機会等あれば教えて頂きたい	イベントや、交流会を設け、周知し参加していただける機会を増やす。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	4	0	3	通信・ホームページ・SNSの見方がわか	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	3	1	1	私はまだ把握できていません	訓練や、行っていることをSNSなどを利用しながら、説明、周知する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	3	1	11	私はまだ把握できていません	訓練を行ったことをSNSなど利用し、周知できるようにする
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	0	0	4	ケガなどしていないのでわからない 今まで無事故だったのでわかりません	今後もケガや店頭などに気をつける
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	2	0	2	通い始めの頃は緊張していたようですが、今では我儘をしていないか親の私が心配になるくらいなんでいる・大好き・先生の話を真剣に聞いている	楽しみながら支援を受けられる状況や環境を整える。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1	0	0	学校に行けない日もきらりに行くと行って、毎回楽しみにしている	利用児にとって、学校や家以外で安心して過ごせる場所として思えるような環境づくりを行っていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室『きらり』和歌山岩出校			公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	復習の支援が重なった時の配置について、その都度、支援内容で配置を考えている。	完全な個室が必要だと考える。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	求人を出したり、就職フェアに参加するなどしている。	求人を出したり、就職フェアに参加するなどする。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		小学低学年向けの椅子が一脚しかないのが不足している。購入の検討を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	イベントや集団支援を増やそうという考えは、共有されている。	イベントや小集団の予定を立て、定期的開催できるようにする。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	支援前の職員間での打ち合わせは、必ずとは言い切れないが、必要に応じ適直行っている。	定期的にミーティングを行う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	支援終了後の打ち合わせは、必ずではないが日地用に応じて行っている。雑談レベルでは常に行っている。	定期的にミーティングを行う
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	利用児に付き添い来所してくれる保健士とは共有できているが、定期的に連携できているわけではない	積極的に連携を取れる体制を整えていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2	保護者からの連絡は常に取れる状態にしている。	学校との情報共有ができる体制を整え、トラブルの発生時に対応できる体制を作っておく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	保護者からの情報を定期的に聞いていたが、保育所等との連携が取れていなかった。	保護者のニーズに沿って、必要な情報共有や、相互理解に努める。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5	学校卒業後、就職した児童がいなかったため、福祉サービスとの連携は取れていなかった。	学校卒業後の進路や就労場所との連携や情報共有を取れるような環境をつくる。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	会社内での研修に定期的に参加し、質問事項などもすぐに対応できるようにしている。	企業内で、専門の指導員に質問できる体制を整え、自分の力にできるようにする。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		保護者のニーズがあれば、会社と相談して取り
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		協議会の詳細を把握し、参加できるようにする。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	子サボなど活用しながら、保護者も支援に参加してもらえるよう促している。	気軽に家族参加できるような枚葉づくりと、機会を設け、情報提供を行っていく。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4		イベントを開催し、保護者会の機会を設け、参加できるように促していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		会社の意向と保護者とのニーズがあれば検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	3		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			